

町たんけん 発表会

単元名:わたしの町 はっけん

2年	生活科	大塚亜弥, 松原光咲
----	-----	------------

学習のゴール

自分たちの住んでいる町の施設やお店、働いている人々について町探検の活動を通して調べ、わかったことを「町たんけん発表会」で学級・学校・地域に発信する。

身に付けさせたい力

- ・町を探検する活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わり、地域に親しみや愛着を持てるようにする。
- ・町探検で調べた情報をどのように伝えたらよいかを考え、伝え方を選び、伝え合うよさや楽しさに気付くことができるようにする。

情報活用能力ベーシックによる学習のプロセス(23時間)

学習プロセス	時	学習内容
1 課題の設定	1	○夏休みを利用して、身近な施設やお店に興味を持たせる。
	2	○町探検で詳しく調べたい施設やお店を決定する。
2 情報の収集	3	○担当する施設やお店について本やインターネットなどを使いインタビューする内容を考え、町探検の準備をする。(事前にインタビューする内容を施設やお店に持って行く。)
	7	
	8~10	○グループごとに町探検に行く。(保護者ボランティア)
3 整理・分析	11	○町探検で聞いたこと、見たことをグループで共有する。
	~ 18	○各グループで発表の方法を考える。(紙芝居、クイズ、新聞、劇、スライドなどの多様な方法) ○「町たんけん発表会」に向けて各グループ計画をし、練習する。
4 まとめ・表現	19	○各グループの発表動画を撮影する。(各グループの発表をQRコードにして、まとめる。)
	22	○「町たんけん発表会」(保護者参観)
5 振り返り ・改善	23	○「町たんけん発表会」を終え、振り返りをする。 ○QRコードでまとめた発表を家族や学校のみんなにってもらい意見や感想をもらう。



3 整理・分析(11～18 時間目)

町探検で情報収集をしたことをもとに、「町たんけん発表会」を行うための準備をした。その際、調べてきたことを効果的に表現させる方法（発表方法）を自分たちで考え工夫させることで、主体的に活動できるようにした。グループごとに紙芝居、クイズ、新聞、劇、スライドなど多くの方法を考えた。また、伝える相手（保護者、友だちなど）を意識して発表内容を考えさせることで、各グループ、発表の準備をしていく途中で劇やスライドなどを付け加えたりして、より相手に伝わる方法を考えながら活動を行った。



4 まとめ・表現(19～22 時間目)

2年生保護者に参観をしてもらい「町たんけん発表会」を行った。各グループが様々な発表方法で、町探検で調べた情報を工夫してまとめたものを発表した。保護者、児童は各グループの発表を聞きながら、新たに知ることも多くあった。新しいことを発見することにより、児童は、より地域に親しみや愛着を持つことができた。また、発表したことをより多くの人に伝えるために、各グループの発表を動画に撮り、QRコードにまとめ、より多くの人に発信できるようにした。(別紙参照)



5 振り返り・改善(23 時間目)

「町たんけん発表会」を行う前にペア学年である 4 年生に発表内容を見てもらい、よりよい発表にする改善点をアドバイスしてもらった。アドバイスをもとに、児童たちが改善し、保護者参観の発表会や QR コード作成のための動画撮影では、よりよい発表をすることができた。

「町たんけん発表会」を終えての児童の振り返り

・発表の仕方を考える時、どうやって発表したらいいのか考えるのが難しかった。スライドを始めて作ってみたいけれど、先生に教えてもらいながらやってみたら上手に作れた。お家の人もたくさん来ていたので、本番は緊張したけど頑張って発表できた。ぼくたちが町探検に行ったオレンジポップスを地域の人にも、もっと知って欲しいと思った。

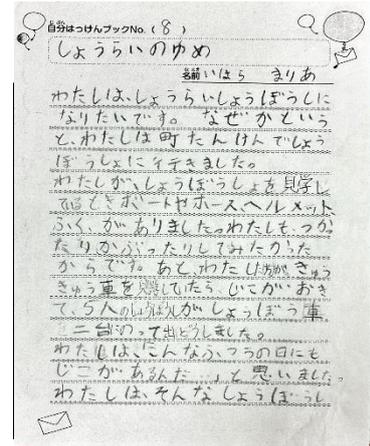
・私たちのグループは、町探検に行った様子をお話（紙芝居のような）とクイズにして発表しました。ナレーター役、子ども役、歯医者さんの人の役など、役割を分担して発表してみました。練習の時は、なかなかうまくいかなかったけれど、たくさん練習したり、グループのみんなと協力したりしながら頑張った。私たちの発表をもっと他の学校や地域の人に見せてみたいと思った。町探検に行った歯医者さんに感謝の手紙を書きたいと思う。

・発表の本番では、グループの友だちが一人お休みしてしまったけれど、今までたくさん練習していたから、しっかりと発表することができた。私たちは図書館に町探検に行ったので、感謝の気持ちを本にして伝えたいと思う。

子供の変容

学習を始める時(夏休みの宿題を説明する授業),児童たちは自分の通学路と自宅の周辺しか目を向けていなかった。町探検の活動を終え,児童の視野が広がり,公共施設などについても理解を深め,自分たちの生活がいろいろな人たちに支えられていることにも気付いた。町たんけん発表会を終えた後,「学習を通じて,地域の人から学ぶことができましたか。」

という質問に対し,90パーセントの児童が「学ぶことができました。」と答えている。また,その後の生活科の学習でこれからの自分を考える授業では,「消防署へ町探検に行き,仕事の素晴らしさを感じ将来,消防士になりたい。」と考える児童もいた。



創造性を育む学びのポイント

Point! 情報収集と発信方法

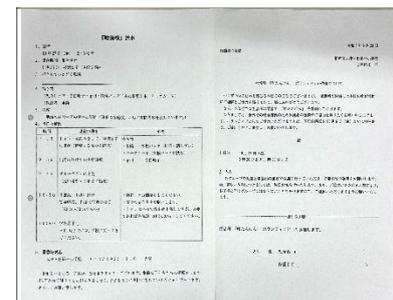
低学年なので,情報収集や発信する方法は指導者と一緒に確認をしながら考えて行った。①アイパッド・写真を撮るルール,インターネットの使用について,スライドの作り方②書物・図書室で図書館指導員の先生にも協力してもらい必要な本を選択する。③人に聞く・疑問に感じたことなどをお家の人や教師に聞く。情報収集と発信方法は,自分たちで選択できるよう活動を行ったため,児童が主体的に活動することができた。



スライドを使って発表

Point! 地域の施設・お店や保護者への協力

町探検に協力してくれる施設やお店は業種が重ならないように検討した。(電話にて見学の依頼をするが,お店によっては受け入れてもらえないところもあった。)また,町探検の際には,児童の安全確保のために保護者の協力が必要であった。各グループ,大人が一人は付けるようにした。保護者へは,ボランティアに協力していただけるようお手紙を出し,町探検の当日は注意事項を渡し説明をした。



保護者への手紙